

見開き解説

リモートワークでも 生産性を上げるためにすべきこと

株式会社ビジネスウォリアーズ 代表取締役 相原 秀哉

目次

1. リモートワークによる生産性低下の問題とは

- ネイティブ・リモートワーカーの経験から
- 生産性低下の問題点
- 今起きている問題から逃げない

2. リモートワークでも最高の生産性を上げるチームはどのようなものか

- 「環境・インフラ」 ● 「組織・文化」
- 「業務プロセス」 ● 「人・スキル」

3. 自由にさせるマネジメントでモチベーションと創意工夫を引き出す

- モチベーションが下がる3つの要因 ● 任せて育てる

4. 目的と目標を共有するチームづくりで仲間意識を醸成する

- 「目的や目標そのものが社員にとって共感できるものであること」
- 「目的や目標の共有に双方向性を持たせる」
- 「目的や目標をつくって終わりにしない」

5. 緩いコミュニケーションが自然発生する仕掛けで情報共有を促進する

- 「情報共有」面での問題 ● 「気づき」面での問題 ● 適度な雑談を推奨する

6. 心理的安全性の担保はすべてに優先する

- 『問題が発生したら、人ではなく問題の構造に着目する』
- 『「誰が言うか」ではなく「何を言うか」に着目する』
- 『過去ではなく未来に目を向ける』



● 相原 秀哉 (あいはら ひでや) 株式会社ビジネスウォリアーズ 代表取締役 <https://www.bw-s.co.jp>

2005年 慶應義塾大学大学院法学研究科修了後、IBMビジネスコンサルティングサービス（現日本IBM）入社。戦略コンサルティング部門にて16業種・28社を対象に業務改革や経営管理改革等のコンサルティングプロジェクトに従事。グローバルスタンダードの業務改善手法“Lean Six Sigma”や活動コストに着目した業務可視化・改善手法の“ABC/ABM”を応用したコンサルティングを得意とし、2012年、日本IBMで初めてIBM公認のLean Master (Master Black Belt) に認定。

2016年4月ビジネスウォリアーズ創業、代表取締役社長就任。ホワイトカラーの生産性向上や業務のペーパーレス化、リモートワーク導入や内部統制構築などのコンサルティング、ロジカルシンキングやエクセルスキル向上の研修等に従事。2020年12月に著書『リモートワーク段取り仕事術』を出版。マイナビニュースにて「成果を上げながら定時で帰る仕事術」を連載中。リモートワークでの生産性向上をテーマにした講演会も実施している。